

# メーデー宣言 (案)

本日、私たちは第94回広島県中央メーデーを開催した。

コロナ禍から3年が過ぎ、ようやく収束に向かう中、再び多くの仲間が、集結することができた。労働者の地位や労働条件の向上、民主主義の発展や恒久平和を希求する、メーデーの社会的意義は不変であり、多様な仲間がつながること、団結することの重要性を再認識し、この喜びを皆で分かち合おう。

国内では、長引くコロナ禍や急激な物価高は、私たちの暮らし、とりわけ立場の弱い人々に大きな影響を与えている。持続的な賃上げや、有期・短時間・契約などで働く仲間の処遇改善、適正な価格転嫁、フリーランスをはじめ曖昧な雇用の課題解決、そして社会的セーフティネットの強化など、暮らしをまもる取り組みを最優先に進めよう。

あわせて、甚大な被害をもたらしたトルコ・シリアの大地震は記憶に新しいが、わが国でも気候変動に伴う自然災害が頻発化・激甚化している。私たちが暮らす広島も2014年広島豪雨災害発生から9年を迎えようとしており、これら災害の記憶を風化させることなく、被災地の復興・再生と、その教訓を活かした防災・減災対策を進め、支え合い・助け合いの社会をつくって行こう。

一方、世界では、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻から1年が経ち、未だ停戦は見通せず、戦闘が一層長期化するのは避けられない状況にある。また、朝鮮民主主義人民共和国の度重なるミサイル発射など、今この時も世界の平和が脅かされている。平和と秩序を武力で破壊する暴挙は断じて許されない。まもなく被爆地・広島で、核兵器保有国をはじめとする世界のトップリーダーが一堂に会する、歴史的なG7サミットが開催される。

私たちは、唯一の戦争被爆国として、被爆地ヒロシマの県民として「核兵器廃絶」と「世界の恒久平和の実現」のため、国際社会の結束を強く求めるとともに、今こそ、平和・人権・環境・労働が守られる、自由で民主的な世界の構築に向け行動して行こう。

すべての働く仲間が安心して働きくらすために、ジェンダー平等の実現はもとより、多様な価値観・背景を持つさまざまな人たちとの対話を進め、持続可能でよりよい世界、誰一人取り残されることのない社会、笑顔あふれる未来をめざし、力を合わせ、ともに進もう。

以上、ここに宣言する。

2023年4月29日  
第94回広島県中央メーデー